



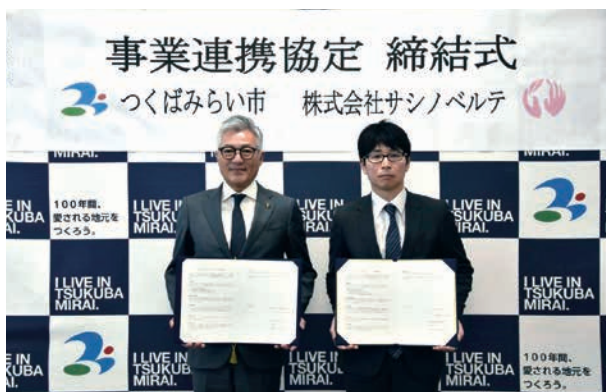
エネルギーの地産地消に向けて

再生可能エネルギー設備を導入

関 生活環境課

令和7年4月、(一社)地域資源活用推進協会、SBI スマートエナジー(株)と「脱炭素による持続可能なまちづくりに関する包括連携協定」を締結しました。この2社と市内事業者により新会社「みらいエネルギー合同会社」が設立され、本市は同社と連携し、再生可能エネルギー設備の導入による「エネルギーの地産地消」を進めています。

設備導入の初期費用は同社が負担し、本市は発電された電力を買取ることで、ゼロカーボンシティへの取り組みを進めます。



子ども一人ひとりに寄り添う

児童発達

支援センターを建設

関 社会福祉課

令和7年4月、(株)サシノベルテと、障がい児福祉サービスの質向上のための事業連携協定を締結しました。成長や発達に関する相談が増える中で、保護者や子どもたちへの支援体制を整え、障がい児福祉サービスの質の向上と充実を目指します。

(株)サシノベルテは現在、小張地区に児童発達支援センターを建設中で、令和8年に完成予定です。児童福祉、障がい福祉、子育て支援における本市の新たな地域資源として、福祉サービスの更なる向上が期待されます。



自分らしく暮らせるように

障がいのある方の運転免許

取得費用を補助

関 社会福祉課

障がいのある方の日常生活や社会生活の活動範囲を広げて、より自分らしく生活できるようにするため、自動車教習所で教習を受けるための費用のうち、2/3(10万円以内)を助成しています。

令和7年度には、身体障害者手帳(1級~4級)をお持ちの方だけでなく、療育手帳や精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方も助成を受けられるようになりました。